

平成 29 年度第 1 回岡崎市動物行政推進協議会会議録

日 時 平成 29 年 5 月 26 日（金） 午後 15 時 00 分～午後 17 時 00 分

場 所 動物総合センター 研修室

出席及び欠席者 出席 11 名（石原委員、小芦委員、合田委員、庄村委員、杉浦清丸委員、杉浦智恵子委員、添田委員、古澤委員、牧委員、矢部委員、渡邊委員）
欠席 1 名（脇田委員）
傍聴人 1 名

会議次第

1 あいさつ（保健部長 柴田）

皆さま、こんにちは。保健部長の柴田と申します。日頃は、岡崎市の動物行政に関しまして、御協力と御理解を頂きまして、厚く御礼申し上げます。また、岡崎市動物行政推進協議会委員への御就任くださいましたことを、心よりお礼申し上げます。

さて、昨年度皆様の御協力をもちまして、動物行政推進計画の見直しを行いました。新たな動物行政推進計画を策定することができ、この計画がより良いものになったと考えております。

本日は、平成 28 年度の実績報告と平成 29 年度目標について協議する予定ですので、ぜひ活発な御意見をお願いします。

2 辞令交付

委員に辞令交付を行った。

3 委員紹介

委員の自己紹介が行われた。

4 会長及び副会長の選任

委員の互選により会長に矢部委員、副会長に合田委員が選任された。

5 協議事項

（説明）

事務局より配布資料を用いて、平成 28 年度の目標と実績について説明した。

（協議内容）

平成 28 年度の目標と実績について

- ・狂犬病の検査に関し脳の取出しは、動物総合センターで行うのか。（合田委員）
→台湾において野生動物で狂犬病が発生したことにより、モニタリング調査で協力が必要となった。特定外来生物のアライグマ等で狂犬病の症状があるものはマニュアルに基づいて検査できるようにしたい。脳の取出しについては、昨年度行った。取出し後は蛍光抗体等

の検査があるが外部委託も含め検討したい。(事務局)

- ・解剖は危険を伴うが可能なのか。(合田委員)
→検査できないというべきではない。技術的には可能と考えている。完全におおわれている、すべて消毒のできる部屋で行う予定。(事務局)
- ・検査の費用はどれくらいか。(石原委員)
→動物衛生研究所に依頼すれば無料だと思う。(合田委員)
- ・狂犬病は現在日本では発生していないが対応は必要なのか。(杉浦清丸委員)
→数年前に隣の国で狂犬病が発生した。それ以来緊張感が高まっている。また、海外ではごく普通にある病気なので、国内では犬を対象に全頭にワクチン接種を目指している。(事務局)
アライグマ等の野生動物や、シラサギ、吸血コウモリの感染も確認されている。(合田委員)
日本は島国なので狂犬病が抑えられた。アメリカや中国などの大陸では難しい。数年前の事例は島国で発生したので話題となった。(石原委員)
- ・猫の避妊措置モデル事業の目標数は。(矢部委員)
→目標数というのではない。室内飼いと避妊去勢の普及啓発に労力をかけていく。猫の避妊措置モデル事業では、地域の問題としてとらえるため、オスの去勢は地域で行っていただき、その費用も負担していただいている。メスの避妊手術に関してはこちらで行う事業となっている。(事務局)
- ・ゾウはすでに展示されているか。(矢部委員)
→4月29日から展示している。(事務局)
- ・動物園のゾウ舎が新しくなり、先日見に行ったときゾウの元気な姿がみえてうれしかった。(古澤委員)
→こちらの予想以上にゾウが環境に適応しており、前日までは外に出られなかったが、当日はすぐ外に出ることができた。最近ではベルトコンベアでの餌やりも行えるようになった。(事務局)

平成 29 年度の目標について

(説明) 事務局より配布資料を用いて、平成 29 年度の目標について説明した。

(協議内容)

- ・岡崎市のアライグマ対策はどのようになっているか？(矢部委員)
→特定外来生物として、地元の要請に基づき対策を行っている。個人ではなく町として総代さんから依頼を受けている。連絡調整は環境部環境保全課で行い、檻を仕掛ける等は動物総合センターで行っている。(事務局)
岡崎市は他部局と連携ができており、良い事例だと思う。(矢部委員)
- ・個人宅の蛇の対策はあるか。(石原委員)

→野生動物がすみやすい環境をなくすのが良いと思う。(事務局)

空き家に蛇が住み着くことが多い。(石原委員)

・動物園のフラミンゴの網はいつ外せるか？(矢部委員)

→鳥インフルエンザが国内で発生した後、至急防疫対策を行った。安全宣言が出された後、網の上の不織布等を取った。(事務局)

鳥インフルエンザは季節に関係なく、各地から侵入の危険があり恐ろしい。(合田委員)

・現状どおり岡崎市には業務を行っていただきたい。(小芦委員)

・岡崎市は他市より動物行政が進んでいると感じる。(渡邊委員)

・来年2月ごろ動物総合センター10周年記念講演会を市民会館にて予定している。講演者は動物愛護にふさわしく、知名度の高い方で検討中である。

6 その他

事務局より、現在「岡崎市災害時におけるペットのための行動指針」の原案を提示、皆様の意見を取り入れた完成版目指したいと考えているので、委員の皆様にはぜひご意見をいただきたいと考えております。別紙意見書にて事務局までお願いします。

次回開催は来年2月ごろ予定しておりますので、よろしくおねがいします。